

煮炊きバーナーの使用法

【導入意図】避難所での炊き出しや暖房機としての使用を可能にし、避難所の機能強化を目的とする。

第 1 版



作 成 者	防災課災害対策係
-------	----------

目次

煮炊きバーナーの使用法.....	1
目次.....	2
1.煮炊きバーナーセットの内容.....	3
1)煮炊きバーナー本体(赤枠参照).....	3
2)タンクホース(青枠参照).....	3
3)ドレン受け用ケース(黄枠参照).....	3
2.タンク.....	3
3.灯油缶.....	4
4.煮炊きバーナーの使用法(給油～点火まで).....	4
0)使用する前に.....	4
1)灯油缶詰を開封する.....	5
2)タンクに給油する.....	5
3)電源プラグをコンセントに差し込む.....	6
4)タンクホースをタンクと本体にセットする.....	6
5)油タンクのバルブを開く.....	7
6)セット図.....	7
7)空気抜き操作を行う.....	8
8)本体側の空気抜きをする.....	8
9)点火.....	9
10)火力調整の方法.....	9
5.消火.....	10
6.暖房器具としての使用法について.....	10
7.暖房器具のセット方法について.....	11

1. 煮炊きバーナーセットの内容

各小・中学校の災害応急物資格納庫の中に2セットあります。



1) 煮炊きバーナー本体（赤枠参照）

灯油を燃料として、電力を使用することで燃焼します。

2) タンクホース（青枠参照）

燃料タンクと本体をつなぎ、灯油を供給するためのホースとなります。

3) ドレン受け用ケース（黄枠参照）

空気抜き操作をした際に灯油が出るため、その灯油を受けるために使用します。受けた灯油は、タンクに戻してください。

2. タンク

灯油を入れるタンクとなります。容量は15.5Lとなります。



3. 灯油缶

灯油の長期保管を可能とするため、缶詰にして各小・中学校に 1L/缶を 8 缶備蓄しています。箱内には、じょうご 2 枚と缶切り 1 セットと取扱説明書が入っています。



4. 煮炊きバーナーの使用法（給油～点火まで）

0) 使用する前に…

灯油を使用することから、取り扱いには十分注意する必要があります。
使用場所は、燃えやすいものから遠ざけ、振動のない水平な床面で使用してください。



【留意点】

- ・燃えやすいものがないければ、換気対策をしたうえでの屋内使用も可能です。

1) 灯油缶詰を開封する

箱から缶詰と缶切りを取り出し、缶切りを用いて缶詰を開封します。缶詰を開封するときは、空気口も開けてください。



【留意点】

- ・ 缶詰の開封時には缶切りの頭を押し込むように開けると開封しやすいです。
- ・ 給油口（赤枠）と逆方向に空気口（青枠）も開けてください。

2) タンクに給油する

タンクの給油口のふたを開け、じょうごをセットし、タンクに給油します。給油後はふたを閉めてください。



【留意点】

- ※火の気のない場所で給油を行ってください。
- ・ じょうごのツルツルした面を上にしてタンクの給油口にセットしてください。
- ・ じょうごに沿わせて灯油を注ぎ、こぼれた灯油はふき取ってください。

3) 電源プラグをコンセントに差し込む

本体の電源プラグをコンセントに差し込んでください。



4) タンクホースをタンクと本体にセットする

タンク側と本体側にホースを差し込み、ホースバンドを用いて抜けないようにセットしてください。

タンク側



本体側



【留意点】

- ・ホースを奥まで差し込み、ホースバンドでホースが抜けないように締め付けてください。
- ・ホースをつたって本体に灯油を注入するため、タンクは地面より上にセットしてください。

5) タンクバルブを開く

タンクバルブを「開」方向に全開にしてください。



【留意点】

- ・使用しないときはバルブを必ず閉めてください。

6) セット図

1)～5)をセットすると下図のようになります。



【留意点】

- ・タンクホースはタンク側と本体側で抜けないようにになっていますか。
- ・タンク内に燃料は入っていますか。
- ・タンクは地面より上にセットされていますか。

7) 空気抜き操作を行う

ホース内を真空にするため空気抜き操作を行います。本体左側面側のドレン出口にケースを置き、空気抜きボタンを押してください。



【留意点】

- ・「空気抜き」ボタンは90秒程度押し続けてください。

8) 本体側の空気抜きをする

空気抜きシャフトを「開」方向に回して灯油があふれだしたら、「閉」方向に閉めてください。



【留意点】

- ・空気抜きの際にドレンにたまった灯油はタンクに戻してください。

9) 点火

運転スイッチを押して入にします。



【留意点】

- ・ 運転ランプが緑色に点灯します。
- ・ 点火してから5分間は予備燃焼となります。
- ・ 電源プラグをコンセントから抜かないでください。

10) 火力調整の方法

火力調整は軽く指でタッチすることで調整可能です。



【留意点】

- ・ 予備燃焼時は火力調節できません。予備燃焼時は「5.」（赤枠点線）となり、その後「5」となります。（赤枠参照）
- ・ 火力調節はL（最小）・1～9・H（最大）となります。

5. 消火

運転スイッチを押して切にしてください。ボタン押下後、火力表示が消え、燃烧用送風機が停止して約 4 分 30 秒後に運転ランプが消灯します。



【留意点】

- ・電源プラグをコンセントから抜き取っての消火はしないでください。
- ・1度使用したら、緊急時以外すぐに消火することはやめてください。

6. 暖房器具としての使用について

別途配備してある暖房機セットを使用すれば、暖房器具(ストーブ)としての使用も可能です。



【留意点】

- ・煮炊きバーナーを暖房器具としての使用する場合は、点火前にセットしてください。

7.暖房器具のセット方法について

煮炊きバーナー本体にあるごとく(赤枠)の4隅にある蝶ナットを回し、ごとく(赤枠)を取り外します。その後、暖房器具セットを本体にのせ、先ほど外した蝶ナットを取り付ければ、セットが完了です。



【留意点】

- ・蝶ナットの取り付けは、ぐらつかないよう取り付けてください。
- ・セットが完了したら、点火してください。
- ・取り外す際には、やけどに気をつけ、消火後、時間をおいて取り外してください。